

ほけんだより



静岡聴覚特別支援学校
保健室 文責・栗田
令和5年3月15日



卒業・進級 おめでとうございます！

令和4年度も、残りわずかになりました。今年度も、感染症対応をしながらの学校生活でしたが、子どもたちは、予防行動が着実に身に付いてきています。御家庭でも、この良い習慣を継続して行い春休み中も元気にお過ごしください。

春休みは、今までを振り返り、新たな目標に向かって心と体の準備をするときです。しっかりと準備をして、4月からの新しい生活を元気よく迎えられるようにしましょう。

静岡県の新型コロナウイルスの感染状況：国評価レベル1

3月に入ってから、静岡県内の新型コロナウイルス新規感染者数は減少し続け、3月4日には **国評価レベル1** へと引き下げられました。国評価レベル1になったのは、昨年の6月以来です。



卒業式や入学式でのマスク着用の方針も決まり、5月に向けて感染症予防対応が緩和されていきますが、基本的な感染症予防対策は変わりません。今まで身に付けた手洗い、手指消毒や、換気、咳エチケットなどの感染症予防の習慣やマナーは続けていくようにしましょう。

春休み中も、毎日検温・健康観察をお願いします

毎朝夕の健康観察を続けてくださり、ありがとうございます。毎日検温をする習慣が付いていると思いますので、春休みの間も続けてお願いします。3月の健康観察記録用紙は、新年度初めに提出してください。



春休み中の受診結果連絡について

春休みに定期通院や病気等で受診をした場合は、「受診結果連絡票」へ記入し、緑のクリアファイルに入れて提出してください。新たに学校での内服が必要になった場合は、「与薬依頼書・見届け依頼書」への記入もお願いします。用紙は、学校ホームページの「各種ダウンロード」の項でも確認できます。

「受診結果連絡票」用の緑のクリアファイルが無い場合は、担任へ御連絡ください。

この1年間で 何回 言えた？



何回 言われた？

多ければ多いほど Happy になれる言葉ですね。

「よくできたね」と褒めるのではない。
「ありがとう、助かったよ」と感謝を伝えるのだ。
感謝される喜びを体験すれば、自ら進んで貢献を繰り返すだろう。
アルフレッド・アドラー

子どもたちにとって、褒められることはうれしいですが、同じ目線に立って感謝を伝えてもらえる「ありがとう」は、もっとうれしい言葉です。たくさん「ありがとう」を言われるほど、人にも優しくなれるのではないのでしょうか。



令和4年度 健康のあしあと



新型コロナウイルス感染症に注意しながらのスタートでした。「8～9月の第7波」「年末年始の第8波」「インフルエンザとの同時流行」と何度も心配な時期がありましたが、感染症対策を講じながら教育活動を行うことができました。

昨年度と比べて、新型コロナウイルス感染症に係る出席停止の件数が多かったですが、保護者の皆様の御理解と、早めの対応のおかげで、学校での感染の広がりは見られませんでした。





**保健室の
利用件数**

**1日平均
2.06 件**




**ケガの手当てで
来た人 82.2%**

**一番多かったケガ
打撲**

**体調がわるくて
来た人 16.8%**

**一番多かった症状
かぜ症状**



外科症状では、「打撲」が圧倒的に多く、「擦過傷」「切り傷」が続きます。運動会の練習が始まる5月に利用者が多かったです。

小学部6年生が算数の授業で「昨年度のケガの状況」について調べ、表やグラフにまとめた資料を保健室前に掲示しました。統計結果を見た6年生から「周りに気を付けながら行動する」「待つ」ことで、ケガを予防できると、右の写真のようなポスターでの呼びかけがありました。



内科症状では、「発熱・かぜ症状」「腹痛」「頭痛」が多かったです。

保健室では、原因や症状を、できるだけ自分の言葉で伝えるように話しかけています。水で傷をきれいに洗ったり、絆創膏を貼ったりすることも、できることは自分でやるように促し、けがや不調で困ったときにどうしたいか、選択できるように聞きます。少しずつですが、「絆創膏は自分で貼ります。」「傷を洗ってきました。」「少し休みたいです。」という答えや依頼が増えてきました。



保健室前の掲示コーナーでは、月ごとにテーマを決めて、興味をもちそうな動く掲示やクイズ、パズルなどを紹介し、たくさんの子どもたちが挑戦してくれました。

特にパズルは、幼稚部の子どもたちにも大人気で、パーツ合わせを楽しみながら、体についての話をしています。子どもたちの発想の豊かさや集中力に驚きながら、次はどんな掲示を作ろうか、私もわくわくしています。